

学校経営概要

三浦市で育てたい子ども像

○心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども

現在、そして将来にわたって、「人として自らを信じ、向上心をもって生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども

自分が置かれている状況を肯定的にとらえ、「三浦の魅力を心に温めて生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

自己中心的に物事をとらえるのではなく、「他も尊重しながら生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。



育てたい子ども像

自分で考え 創造する子

自主・自立:学力の向上

心 豊かな子

協働・調和:人間関係の構築

たくましく やりとげる子

健康・安全:体力の増進



学校経営に関する基本方針

○子どもが、子どもの思いを、子どもの言葉で、子どもに向かって話す姿を

・学びの三要素である「知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性」を育むため、「主体的、対話的で、深い学び」が実現した、理想の子どもの姿として掲げる。

「小規模校であることを『強み』とした学校づくり」

①一人ひとりの子どもとしっかり向き合い、授業の質を高めることを教育活動の根幹とする。

・基礎・基本の定着を図るとともに、学校研究のテーマを「子どもが子どもの言葉で語り合う」とし、「主体的、対話的で深い学び」の実現に向け、子ども一人ひとりが学習持久力や高め合う学習を意識できるような教育活動を行う。

②全教職員の主体性や新たな視点を大切にし、創造的な教育が展開できる学校づくりを進める。

・学年や教科の枠を越え、創意工夫した教育活動を推進し、自ら学び、自ら考える力の育成を図り、確かな学力を育む。

③基本的な生活習慣の定着とお互いの人権を尊重する学級づくりを進める。

・「五常の松」の教え(仁義礼智信)を常に心にもち、豊かな人間性と人権を尊重する学級風土をつくる。(いじめのない学級づくり)

④家庭・地域との連携を図り、地域とともにある学校づくりを進める。

・感染拡大防止に配慮しながら、「あったかい町 三崎」のヒト・モノ・コトとの交流を積極的に行い、教育活動の充実を図るとともに、地域から信頼され、必要とされる学校づくりを進める。



本年度の重点

①確かな学力の定着

・小規模校であることを「強み」と捉え、一人ひとりの児童の学習状況を多面的、多角的に把握しながら学力の三要素の定着、伸長を図る。

・計算力の向上や語彙の増加などの基礎学力を定着させることができる授業づくりを推進する。

・授業研究を中心に学校研究を活性化させ、「主体的、対話的で、深い学び」を追求する。

・体育、音楽、生活において2学年合同の授業を追求していく。

・地域素材を教材化した問題解決的な学習を通して、思考力・判断力・表現力を高める。

②支持的風土の確立

・お互いの個性を認め合いながら、良好な人間関係を育める学級づくりを進める。

③地域とともにある学校づくりの推進

・歴史と伝統のある三崎小学校、地域に愛されている三崎小学校であることを常に意識し、その期待に応えられるよう「三崎らしさ」を大切にしつつ、家庭・地域と協働した学校づくりを進める。